



Animal Medical Invention

Established 1991

SAMI NEWS

No.57

動物医療発明研究会

New Year, 2021

冬

に延期すれば『セミナー付き総会』もできるかなあと密かに思っていたのに新型コロナは勢いを増しています。前回のニュースレター「コロナ特集」を役立てていただけだと嬉しいです。神奈川県内では11月に2軒の動物病院でスタッフがコロナ陽性となったそうです。それを受けて清水動物病院ではスタッフに通勤時に着用するパーソナル除菌脱臭器（首かけタイプのカルテック）を支給しました。様々な対応が求められ試行錯誤の世の中ですが発明研、皆さまのアイデアで乗り越えましょう！ SAMI事務局 清水 宏子



COVID-19 コロナ禍での悩み・アイディア(2020年8月時点と今を比べて)



ゾエティス・ジャパン株式会社
鍵和田 哲史

1970年3月30日生（戌）
神奈川県小田原市出身・現在は東京都江戸川区在住
卒業後2年ほど小動物臨床→以後、日本ヒルズ／バイエル薬品／ゾエティスと企業を渡り歩いて26年。
座右の銘：「常に初心」

◎ 仕事編／困っている事 → やってみた事

在宅デスクワークが6ヶ月間継続中。ずっとノートPC（15.6インチ画面）で作業していたら視力がガクっと落ちた（0.6→0.2）。

・→ 21.5インチモニター購入してW画面使いにした。

現在=1／在宅勤務はずーっと継続。21.5インチモニターを購入し、メガネも作り直したら眼精疲労や頭痛も無くなってきた。オンライン会議は社内外共にスタンダードとなり、「PC越しでも顔を出し合って参加」がコミュニケーション上、とても大事だと実感しています。2／10月に、飼主さま向けオンラインイベント「キャットリボン運動の輪」に運営メンバーの一人として参加。ほぼ100%ボランティアで8名ほどが集まりお金もほとんどかけずにYouTube&Zoom配信。100名視聴してくれれば良いかな?と思っていたら最終的に1000名以上が見てくれていてキャットリボン公式HPのアクセスも急増!何でもやってみるものだと実感。



3／今年になってZoetis EUで盛んにプロモーションで使い始めているVirtual Recall（アプリ名i Recall）をちょっとご紹介いた

します。

これは英国の獣医師が開発した「動物病院と飼い主間のオンラインコミュニケーションツール」で、日本でもよく使われているLINEでのメッセージ配信や投薬カレンダー機能の他に、沢山のEducation/Seasonal greeting/visit scheduling/e-purchasing/などを盛り込んだアプリです。日本でもこれをゾエティスから無償提供出来ないか?企画検討しています。

◎ 家庭編／困っている事 → やってみた事

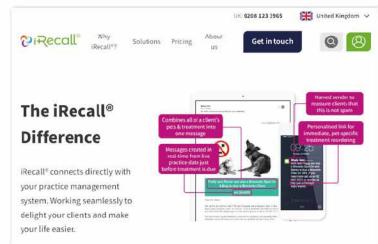
運動不足で体重増加。

・→「踵を上げないスクワット」をTV見ながら。50回／セットをやれるところまで。

★コロナ禍で良くなった事

- ・通勤時間が無くなって、仕事時間を無理なく増やせた&毎日の食事を家族と一緒に取れるようになった。
- ・講演会・学会がWeb開催になり、全国何処からでも参加しやすくなった。企業アンケートや商品紹介も「何となく回答、ながら見・ながら聞き」的な人が少くなり、関心の高い人達だけの反応を得られるようになった。
- ・アイディアを大人数で出し合い協働作業をしていくための便利な新しいWeb toolのご紹介『Mindmeister』
<https://www.mindmeister.com/ja>
無料で始められて、絵を描くように直感的に作画できる。操作の難しさはほぼゼロ。タスク管理・役割分担も出来てしまう。

現在=1／体重を何とか2Kg減少に転じることに成功。スクワットに追加した「ももクロゲッタマン体操」のおかげ。これもちょっとした休憩時に道具不要ですぐ出来るから継続しています。



漢方薬を獣医療へ取り入れる「創意工夫の漢方薬」 橋本 昌大先生(静岡県・高草山どうぶつ病院)



漢方薬を試してみたいと思われる臨床獣医師は多いようですが、導入のきっかけが見つからず困っていると聞いています。今回は動物医療発明研究会の先生方へ「創意工夫の漢方薬」との思いで漢方治療成功のアイデアを紹介したいと思います。

漢方治療の基本的な事柄は知っておく必要があります。「寒(かん)熱(ねつ)」と「補(ほ)瀉(しゃ)」の二つのことがらをまずわかつていただきたいと思います。寒と熱は、文字どおり寒さと暑さの熱のことですが、病気は冷えて発症したのであれば、治療は冷えを取ることが重要です。冷えを取るとは、つまり温めることです。漢方用語では、寒邪(かんじや)、祛寒(きよかん)、補温(ほおん)などの言葉を用いますが、寒邪、寒さの邪気が発症の原因なら、この寒邪を取り去る治療をすることが重要です。この場合には温める薬を用いることです。要するにこの患者さんは体を温める薬が良いのか、冷やす薬の方が良いのかということです。また、身体に十分な熱をもっているのか、不足して冷えているのか、という具体にも使います。炎症が強い場合は、熱が強いと判断しますので余剰の熱を取る治療が優先されます。

「補瀉」についても、一見わかりにくいのですが、足りないものを補う治療か、過剰になっているものを取り去る治療が必要か、どちらを選ぶか、ということです。貧血が原因なら、血液が増える働きをする薬を用います。これを補血剤といいます。逆に過剰な血液が悪さをしているのであれば、瀉血をすることになります。

今回は、膀胱炎の治療例から考えましょう。膀胱炎の治療には古くから猪苓湯（ちよれいとう）が有名です。この処方は、膀胱の湿熱邪を取り去る働きをします。膀胱の炎症（発赤、熱感、疼痛、腫脹、機能障害）が顕著である場合や抗生素服用後も膀胱炎症状が残っている場合に多く使われます。不快な炎症の症状は過剰な熱と判断するので、熱を取り去る猪苓湯（ちよれいとう）は第1選択役ですね。猪苓湯は本来少し甘みのあるものなので医療用製剤でも比較的使いやすいのですが、ホノミボウネツ錠（剤盛堂ざいせいどう）が猫や小型犬でも飲みやすい漢方薬となっています。小さな

ウサギ用エリザベスカラー「パステル」完成



ウサギの手術後や皮膚疾患のある子についてのエリザベスカラー、みなさんどうしていらっしゃいますか？

当院では市販の小型犬用のものを使っていましたが、ウサギにとっては重くて負担になり、材質が固いためケージの金網に当たって出る音がウサギにも飼い主様にも不快な思いをさせしていました。

そこで、クリアファイルの芯にフリースの布を被せて、自家製のカラーを手作りして使用したところ、軽くて肌触りも柔らかく、金網に当たっても音が出ないので、ウサギにも飼い主様にもとても評判が良く喜んでいただけました。中にはご自分で手作りする飼い主様もあらわれ、手術後にカラーをつけてお返しすると「かわいい!」とお言葉をいただくことも。そこでこのカラーを商品化できないかと思い、清水先生にご相談したところ、業者さんを紹介していただき、この度、(株)ワンキャビンさんから「パステル」というネーミングで販売されることになりました。表地はワンキャビンさんの開発した洗濯可で柔らかい布地を

錠剤となっており、猫、5kg以下の小型犬では1錠～2錠、bid服用します。入手は、創盛堂薬品株式会社または漢方薬問屋に問い合わせてみてください。まずは、薬局で1箱購入してみることをお勧めします。医療用漢方を使う場合は、少量の単シロップを加え、丸薬にする方法、レバー風味の缶詰に混ぜて与える方法が良いようです。苦みのある薬を甘さでごまかそうとしても、敏感な動物は嫌がります。むしろ少し苦みのあるレバーや血合肉に混ぜた方が良いようです。

漢方で重視するのは尿の色や臭いです。また、膀胱炎の場合には濁りの具合についても注意します。健康な尿は、澄んでいて臭いも嫌なものではありません。濁りや悪臭がある場合は、抗生素の見直し、食事の変更とともに漢方で調整をします。脂肪分の多い処方食を与えるケースで尿の濁りがある場合も猪苓湯は有効なことがあります。

また、反復性の膀胱炎の場合には、免疫力を高めて再発を防ぐための処方に補中益気湯（ほちゅうえっきとう）があります。こちらも錠剤タイプが使いやすいようです。当院で汎用しているのは三和生薬株式会社（さんわしょうやく）の「補中益気湯A（ほちゅうえっきとうA）」です。5kg以下の小型犬、猫であれば1錠、bidで良いと思います。先ほどの「寒熱」「補瀉」で考えると、こちらは「熱」がなく、どちらかといえば寒がりで、暖房器具の前に居座るタイプの小型犬や猫に適応が多く、偏食も特徴でしょうか。免疫力のもとになる「気」が不足しているようですから、その名の示す「気」を「補う」薬となります。

胃腸が弱く、線が細い「虚証」タイプであれば、現行の治療に補中益気湯を加えてみてはいかがでしょうか。気持ちが強くなり、体力が増強することで病気の再発を防ぐイメージです。



今回紹介した処方

体力不問／残尿感／排尿時の痛み
出血 一般的な膀胱炎 → 猪苓湯

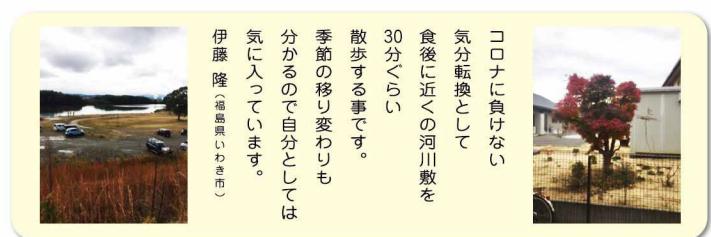
虚証・きょしょう(体力が不足)
畏寒・いかん(寒がり) 反復性膀胱炎
→ 補中益気湯

写真上／ホノミ ボウネット錠(成分表示など)
写真下／動物用医薬品との大きさの比較
中央がボウネット錠

塚島 律子先生(東京都・ももの木ペットクリニック)

使用、パステルの色を大切にしたいので、中芯は表地に影響の無い色で、軽くてしなやかな材質にこだわりました。国内ではこの条件を満たすものが見つからず、海外から取り寄せ試作品を製作。来年初頭には一般販売出来る見通しになりました。

パステルはパステルカラーの優しいエリザベスカラーです。ウサギだけでなくモルモットやチンチラにも使うことができ、これをつけると爪切りも楽に行うことができます。

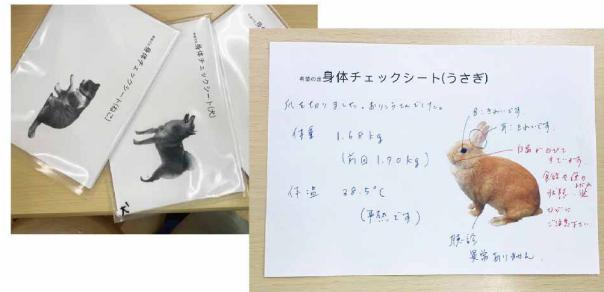


～誠心誠医 創医工夫～ 山口 潤先生(石川県・希望の丘どうぶつ病院)



前回の会誌のコロナ対策に関するアンケート原稿を書いたのが7月頃だったと思います。その頃とは少しずつ状況が変わっているように感じます。コロナ対策に関しては、かなり一般に浸透してきていて、人の立ち入る場所や集まる場所での注意事項も敢えて店舗側が事細かに説明する場面が明らかに減っています。むしろ、そういう対策を示す案内はアイコンなどを使用して簡略化して明示されるようになって、例えばマスクをする理由や換気をする理由などを事細かに書かれていることもなくなっています。

また、そういう対策に関しても、「コロナ対策として○○はできない、していない」といったマイナスな施策から「安心して○○できるプランです」といったような、前向きなものが増えてきています。今までですとそういった、コロナ対策を前向きにとらえるような施策はやや不謹慎に受け取られがちでしたが少しずつ風潮も変わってきていると思われます。この数か月の間でも世相は大きく変わっています。たくさん的人が出入りする動物病院で働くものとしても世間がコロナ対策に対してどのような認識があるのかということに常に気を配る必要があると感じています。ここ最近で個人的に導入したことや変更したこと、まとめたことなどを以下にお示しいたします。



口頭での説明を補完するためにメモをお渡ししていたものをよりオープンで使いやすく、見やすいものに発展させて「希望の丘身体チェックシート」と名付けました！

外力による歪みを跳ね返す力 = レジリエンス

ユーモア・新しいものへの挑戦・支援者・未来志向
自尊心・愛情・楽観主義・感情の調整など

ストレスへの対処法 = ストレス・コーピング

問題調整型コーピング；問題を直接解決
情緒調整型コーピング；気晴らしや苦痛の軽減を目的とする

コロナウイルス感染拡大防止

予防対策実施のお願い



手・指の消毒

アルコール消毒液での消毒をお願いします。



マスクの着用

飛沫飛散防止のため、着用のご協力をお願いします。



距離の確保

間隔を、1~2m以上とってお並びください。



3密の防止

お車またはお外での待機をお願いしております。

ご理解とご協力をお願いいたします。

希望の丘どうぶつ病院



当院は感染症対策として以下のことに取り組んでいます

①病院スタッフの衛生管理

毎朝、出勤する前に体温の測定を行っています。特定の温度ではなく、本人の平熱を大きく越える場合はお休みしてもらっています。手指は、アルコール消毒のほか、手術用洗浄液を用いて手洗いをしています。手袋に関してはした方が安心という声も頂くのですが、業務の特性上、手首よりも部分までの手洗いを1日に何度も行い、手袋をすることで返って不衛生になってしまうため、着用はご遠慮させていただいてあります。

②病院スタッフの感染防護



防護衣 & サージカルマスク & フェイスシールド（またはN95相当マスク）& ゴーグルを着用して診療に当たっています。受付以外でお話を伺うこともありますため、受付の透明シートではなくフェイスシールドやゴーグルで対応しております。

③3密の防止



3密を避けるため、お車でのお待合とご説明しております。またタブレットや筆記による説明を活用して、会話のお時間が短くなってしまってもわかりやすい様に心がけています。お車のお呼び出し用のブザーも消毒しながら使用しております。

④院内の衛生管理



待合室の常時換気を行うとともに次亜塩素酸水による消臭・消毒を行っています。床やドアノブも最低1日2回以上、清掃を行っています。また、お客様の手指消毒と足元消毒を準備し、ご希望の方にはマスクと消毒薬の配布も行っています。現金でもご安心いただけるように、お釣り銭も消毒しています。

より簡略化してわかりやすくしました

BOOK

宏子
お薦めの一冊

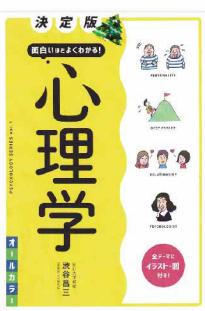
面白いほどよくわかる心理学(決定版)

渋谷 昌三 西東社 ¥1,000+税

臨床・会社・出版社…などの業界にいつても

どんなに一生懸命毎日努力していても仕

事上、精神上の悩みや心配ごとは必ずついてきます。そんな時パラパラめくってみると／仕事や勉強を効率的に片付けるコツ／嫌われる人は言葉の距離感を間違えている／経営手法を考えるX理論とY理論／人を説得するテクニック／元気をなくしたときの心理学／壊れた心を治療する応用療法／などが…



ニャンコのつぶやき

ゴー爺 17

佐藤犬猫病院(三郷市) 佐藤剛作

ワンコのつぶやき

ドッグランで 最近 いつも一緒に 遊ぶ子がいない どうしたのかな？



【新入会員・自己紹介】



医療機器商社
創業80年
(株)本郷いわしや
古関 一成さま
1972年1月24日生
東京都出身

☆ポリシー

喜びを得て、そして相手に喜びを与える！

☆これからやりたいこと（目標）＊仕事＆趣味

病院経営のお手伝い / ピアノ

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

自分自身を成長させる事。

小学生の娘と一緒に学ぶこと。

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

獣医の皆さんに喜ばれる事ができたら嬉しいです。

☆発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

アイデアを出すのが苦手なので、お役に立てられるかどうか分かりませんが宜しくお願い致します。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-2-8
Tel:03-5800-1848 Fax:03-5800-2225
E-mail: k.koseki@hongo-iwashiya.co.jp
<https://www.hongo-iwashiya.co.jp>



新入会員

どうぞよろしくお願いいたします！

古関 一成さま／本郷いわしや（東京）

私たちの喜びを表現することで、お客様の喜びに変える

須藤 董先生／ヴァンケット動物病院（東京）

動物たちと『ずっと、いっしょ。』が、病院のスローガン

動物医療発明研究会のホームページ 会員病院の登録もできます



<http://sami-hp.net>

会員の病院・施設名、郵便番号
住所、TEL&FAXとホームページの
ページアドレスを掲載します。
ご希望の場合は、「SAMI-HP
掲載希望」と明記して、データを
メールにて、下記アドレスまで
お送りください。

hp@ispecial.co.jp
(運営受託: 株式会社アイ・スペシャル)



ヴァンケット動物病院

須藤 董先生（佐々木 董）

世田谷区池尻三丁目16-4 SEED池尻101
info@banquet-tokyo.jp Tel:03-5787-5947

2020年9月に女の子を出産して仕事をしながら育児と奮闘しています！1991年生まれの29才です。日本獣医生命科学大学卒。内科学研究室で心臓疾患について学んでいました。現在はヴァンケット動物病院の副院長として働いています。主に、犬、ネコ、エキゾチックアニマルの診療をしています。過去に夜間救急（目黒）でも働いていました。



ずっと、いっしょ。

☆ポリシー

積極治療を行う。オーナーさんが希望されない場合は、なるべくよりそえる治療をしています。

不安にならないよう分かりやすい説明を心がけています。

☆過去の発明・発見・アイデアなど

膝蓋骨、前十字靭帯を見る際に使用するエコーゲルパッドのかわりに、こんにゃくを使う。（安価でよく見えました）

ヘビとフトアゴヒゲトカゲに食道チューブを入れる。

☆そのきっかけ生れた理由

エコーゲルパッドの触りごこちが、こんにゃくに似ていたのと、エコーゲルパッドが高価なので代わりに何かないかと思い試しました。ヘビの食道が壊死してしまい何もできないことがないとオーナーさんが悲しんでいたときに代わりにチューブを入れれば何とかなるかも知れないと試しました。フトアゴヒゲトカゲは喉をかまれ、嚥下が難しい個体に試しました。両方とも今も元気に過ごしています。

☆皆さんに役立つ失敗談

熱中症で来院したフェレットがLGLリンパ腫だった。スクリーニング検査の必要性を感じました。

☆これからやりたいこと（目標）＊仕事＆趣味

まずは、仕事と育児の両方をがんばります。エキゾチックの診察療は知られていないことや正常値などが分からぬことが多いので色々なことを試し少しでも力になれるよう、がんばりたいです。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

飼っているハリネズミを部屋で自由に遊ばせること。娘と全力で遊ぶこと。

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

先輩方の色々なお話を聞けたら嬉しいです。たくさんのことを見吸収して日々の診察のヒントにさせていただけたらと思います。

☆発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

エキゾチックペットの診察を多く行っているので、それに対して試した様々な治療で良好な結果を得られてものを、お伝えできたらなと思います。



動物医療発明研究会・事務局では、お役立ちの
アイディアやエピソードを随时募集しています。
お気軽にメール、FAX、郵便でどうぞ。

☆なお掲載されるデータは、編集担当「ノーマ
デザイン」野間へ（下記）直接お送りください。
noma@dream.jp

SAMI NEWS 57号 発行日：2021年1月吉日

発行所：動物医療発明研究会事務局

発行人：会長 清水 邦一／編集人ノーマデザイン 野間 忠博

事務局：〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール：sah@vet.ne.jp

FAX：045-583-3594（電話：045-583-3738）